

芳ヶ平周辺地域におけるニホンジカ利用状況把握

予算区分：県 単	研究期間：平成30～令和4年度	担当：企画・自然環境係 坂 和 辰 彦
----------	-----------------	---------------------

自動撮影カメラによる調査（2）

I はじめに

ニホンジカ生息地域は全国的に拡大傾向にあり、樹木や下層植生の衰退、人工林被害が増加している。県内においては、平成27年に芳ヶ平湿地群がラムサール条約に登録され、将来まで守り抜くべき群馬県の重要な観光、自然資源となっているが、今後ニホンジカ生息地域の拡大により、芳ヶ平周辺もシカによる植物資源の劣化が懸念される。

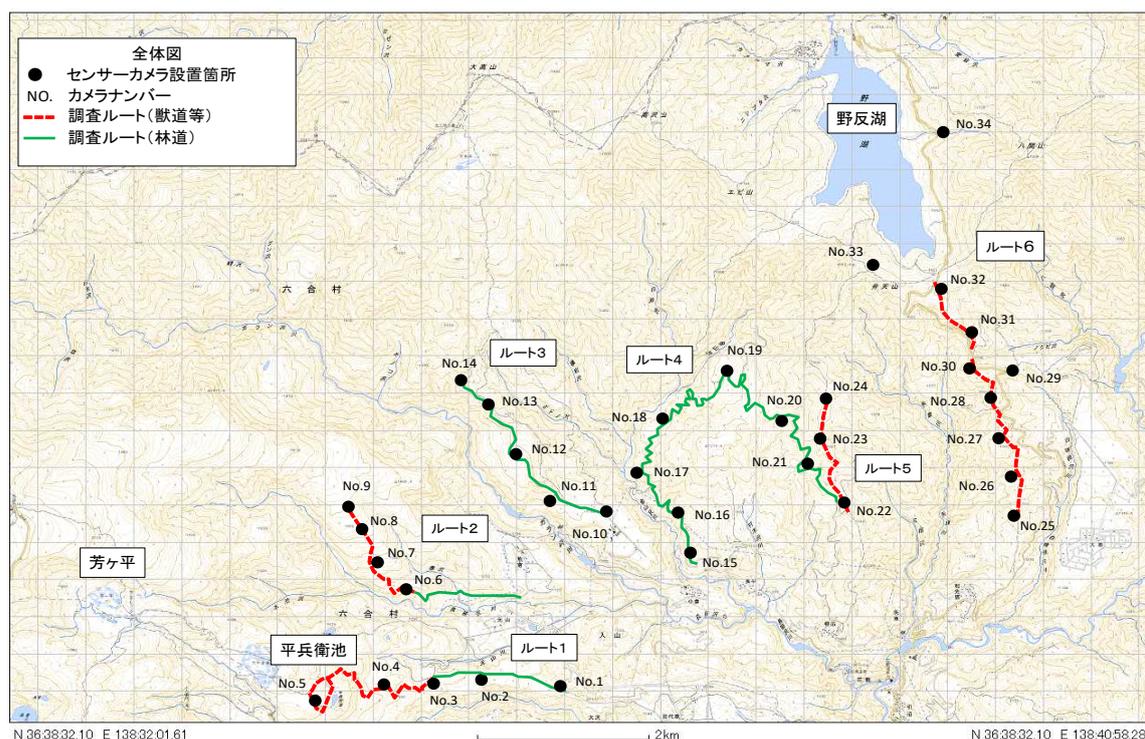
このことから、芳ヶ平周辺地域におけるニホンジカの動向を適切に把握するため、生息状況を詳細にモニタリングし、早期の被害対策の足がかりとなる基礎研究に着手した。

II 方 法

調査区域は、芳ヶ平湿原から野反湖周辺を中心として広域的に設定した。調査区域内の林道や獣道等を調査ルートとして6つ設定し、ルート上やその周辺を踏査してニホンジカの痕跡を調査した。調査の結果、シカの利用があると想定される場所を基本として自動撮影カメラ（BTC-7A Browning社）の設置箇所を選定した。各ルート周辺に32台及び野反湖周辺に2台の計34台を設置した（図-1）。

撮影は静止画で行い、同一個体が重複して撮影される影響を排除するため、30分以内の撮影を一回の出現とみなして解析した。得られた記録からニホンジカの撮影頻度指数RAI（撮影回数/カメラ稼働日数×100日）を算出し、調査区域内のシカ侵入状況を調査した。

図-1 調査区域全体図



Ⅲ 結果及び考察

結果は表－1のとおりであった。設置した全てのカメラでニホンジカが撮影され、調査区域内は広範囲にわたってシカが生息していることが判明した。特にルート1カメラNo. 3から5及びルート2カメラNo. 7から9は月別RAIが50を越えることが多く、ルート平均RAIにおいても高い値を示した。一方、野反湖南のルート6全カメラ及び野反湖付近のルート外No. 33、34では月別RAIが50を越えることは一度もなく、ルート平均RAIも低い結果となった。全体的な傾向を見てもルート6からルート1に向かうにつれ値が高くなっていく傾向が確認できた。このことから、野反湖周辺はニホンジカの利用はまだ少ないが、芳ヶ平東側の平兵衛池周辺ではシカの利用が比較的多いことが分かった。特にルート1及び2の周辺ではシカの利用が顕著である可能性が示唆された。

また月ごとのRAIの変化を見ると、ルート2が8月から9月にかけて特に高くなっているが、その他は月によって突出して高い傾向はあまりなく、本データの期間ではニホンジカの大きい移動はなく、定住利用する個体が多いことが推測された。

今後は自動撮影カメラによる定点観測を継続していくことで、季節ごとの変動や長期的な増減など利用状況を詳細に調査していく。

表－1 ニホンジカ撮影頻度指数 (RAI) 算出結果

ルート No.	カメラ No.	2019年(月別RAI)								平均RAI	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	カメラ	ルート
1	1	0.0(30)	6.5(31)	13.3(30)	22.6(31)	19.4(31)	0.0(20)	-	-	11.0	39.4
	2	20.0(30)	38.7(31)	13.3(30)	9.7(31)	16.1(31)	10.0(20)	-	-	18.5	
	3	-	100.0(24)	80.0(30)	64.5(31)	116.1(31)	35.0(20)	-	-	81.6	
	4	-	50.0(24)	10.0(30)	32.3(31)	45.2(31)	55.0(20)	-	-	36.8	
	5	-	66.7(24)	96.7(30)	103.2(31)	22.6(31)	5.0(20)	-	-	62.5	
2	6	-	0.0(22)	0.0(30)	0.0(31)	0.0(31)	3.8(26)	-	-	0.7	43.9
	7	-	40.9(22)	26.7(30)	35.5(31)	200.0(31)	111.5(26)	-	-	85.0	
	8	-	63.6(22)	36.7(30)	22.6(31)	61.3(31)	100.0(26)	-	-	55.0	
	9	-	22.7(22)	6.7(30)	29.0(31)	54.8(31)	61.5(26)	-	-	35.0	
3	10	-	33.3(3)	40.0(30)	58.1(31)	38.7(31)	30.8(26)	-	-	42.1	28.6
	11	-	33.3(3)	16.7(30)	16.1(31)	12.9(31)	30.0(30)	0.0(2)	-	18.9	
	12	-	0.0(3)	20.0(30)	38.7(31)	35.5(31)	36.7(30)	50.0(2)	-	32.3	
	13	-	0.0(3)	10.0(30)	16.1(31)	29.0(31)	26.7(30)	0.0(2)	-	19.7	
4	14	-	100.0(3)	6.7(30)	22.6(31)	25.8(31)	63.3(30)	0.0(2)	-	30.7	17.5
	15	-	-	22.2(18)	16.1(31)	19.4(31)	10.0(30)	0.0(2)	-	16.1	
	16	-	-	0.0(18)	12.9(31)	3.2(31)	6.7(30)	0.0(2)	-	6.3	
	17	-	-	55.6(18)	35.5(31)	25.8(31)	36.7(30)	75.0(4)	-	37.7	
	18	-	-	5.6(18)	12.9(31)	0.0(1)	-	-	-	10.0	
	19	-	-	0.0(5)	22.6(31)	29.0(31)	36.7(30)	0.0(4)	-	26.7	
	20	-	-	20.0(5)	6.5(31)	6.5(31)	13.3(30)	0.0(4)	-	8.9	
5	21	-	-	0.0(5)	3.2(31)	16.1(31)	20.0(30)	0.0(4)	-	11.9	24.3
	22	-	-	-	-	0.0(31)	10.0(30)	3.2(31)	0.0(8)	4.0	
	23	-	-	-	-	25.8(31)	50.0(30)	48.4(31)	12.5(8)	39.0	
6	24	-	-	-	-	19.4(31)	53.3(30)	25.8(31)	0.0(8)	30.0	15.4
	25	-	-	-	-	23.1(26)	33.3(30)	12.9(31)	25.0(8)	23.2	
	26	-	-	-	-	3.8(26)	13.3(30)	29.0(31)	0.0(8)	14.7	
	27	-	-	-	-	19.2(26)	43.3(30)	19.4(31)	0.0(8)	25.3	
	28	-	-	-	-	8.7(23)	0.0(30)	3.2(31)	0.0(8)	3.3	
	29	-	-	-	-	4.3(23)	3.3(30)	12.9(31)	16.7(12)	8.3	
	30	-	-	-	-	26.1(23)	16.7(30)	9.7(31)	12.5(8)	16.3	
	31	-	-	-	-	0.0(6)	10.0(30)	32.3(31)	12.5(8)	18.7	
	32	-	-	-	-	0.0(6)	16.7(30)	19.4(31)	0.0(12)	13.9	
	ルート外	33	-	-	-	-	0.0(2)	10.0(30)	9.7(31)	0.0(12)	
34	-	-	-	-	16.7(6)	0.0(30)	6.5(31)	0.0(12)	3.8		

「-」は未設置または故障等による未稼働及びデータ未回収のいずれかを示す
 色つきセルはRAIが50を越えているものを示す
 ()は各月におけるカメラ稼働日数